

学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・ 意欲・ 態度	思考・ 判断・ 表現	技能	知識・ 理解
業業科	1年	情報	情報の科学	2	最新情報の科学(実教出版)				
科目の目標	情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。								
評価の観点	関心・意欲・態度 情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	思考・判断・表現 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	技能 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	知識・理解 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。					
単元名	項目名	学習到達目標		補助教材	評価方法				
導入	タイピング	・文字入力がスムーズに行えるようにする。(毎回5分)		・P検(web)のタイピングソフト ・e-typing(web)のタイピングソフト ・yahooメールの取得と活用	生徒観察	○			○
セキュリティ	IDとパスワード	・IDとパスワードによる、ネットワーク上での認証について理解し、実行することができる。							○
ネットワーク	イントラネット	・ネットワークの簡単なしくみを理解し、所定の場所にファイルを保存することができる。							○
情報の表現	情報の収集 表現の工夫	・様々なメディアから、目的とする情報を収集する事ができる。 ・企画書、チラシ、案内状などの作成を通じて、文字、表、図形、画像などの利用方法を身につけ、わかりやすい表現ができる。		ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー2013 Word	電子ファイルの提出 生徒観察	○			○
情報の表し方	アナログとデジタル	・アナログとデジタルの違い、デジタル化の特徴を理解できる。理解することができる。							○
情報の表現	表計算ソフトの基本	・迅速かつ正確にデータを入力することができる。 ・絶対参照、相対参照を理解し、利用することができる。		ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー2013 Excel	電子ファイルの提出				○
情報の表現	表計算ソフトでの表現 関数と引数 マクロ	・データの並び替えやグラフ作成ができる。 ・SUM、IF、VLOOKUPなどの関数を用いて、データの統計や計算ができる。		ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー2013 Excel	電子ファイルの提出				○
情報の収集と表現2	プレゼンテーションの作成	・プレゼンテーション実施の流れを理解することができる。		ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー2013 Excel	電子ファイルの提出				○
情報の収集	発表	・プレゼンテーションにおいて、文字、表、図形、画像などの利用方法を身につけることができる。			生徒観察 発表	○			○
情報モラル		・個人情報の扱い方や、インターネット上のモラルとマナーについて理解できる。							○
問題解決	問題解決の手順	・問題解決の手法について理解する。 ・課題を設定し、情報の収集を行う。			ワークの提出	○			○
	ワード、エクセルなどを使用した プレゼンテーションデータの作成	・課題のプレゼンテーション資料を作成する。 ・課題について、KJ法を用いて、調査することができる。				○			○
	発表	・他の生徒にわかりやすく発表することができる。 ・4人一組となって、相互に発表し、相互評価する。			生徒観察 電子ファイルの提出 相互評価表	○			○